



一宮歩こう会 青春の東海道歩き

# かわら版 24号

7月23日、第17ステージは本隊観光隊ともJR東海バスの利用である。現地出発地が本隊は宇津の谷峠岡部側道の駅、観光隊は岡部町の五智如来堂と、現地集合の人はともに藤枝駅からバスという不便さ。宇津の谷峠は、本隊は曲がりくねった山道の旧東海道を歩いた。観光隊は明治トンネルを抜けるショートカットコースである。ランプのともる明治トンネルと出口で聞いたガイドの説明が良かった。豊臣秀吉が小田原城を攻めた時に拝領したという陣羽織が展示してある「お羽織屋」で90歳のおばあ様から説明を聴く。事前に車中で会長から「高齢になっても生き甲斐があるとこんなにも元気だという見本のような人だからぜひ聞いてください」と予告があったが、肌は艶々、姿勢も良く、音声朗々でみなさんびっくり。ここの売り物は秀吉の陣羽織でなく90歳のおばあ様だというのが一致した意見。ある人は「山の中のおばあさんとは思えない。そのまま田園調布のお屋敷から出てきてもおかしくない品のいい顔立ちに驚いた」と。観光隊は宇津の谷峠静岡側道の駅からバスで丁子屋へ。「遅い昼食でもいいからどうしても食べたい」というみなさんの強い希望で苦心のコース設定である。



丁子屋から旧東海道は丸子の町中を通るが、「旧東海道より丸子川沿いの道のほうが山が見えて景色も良く安全ですよ」と下見の時地元警察官のお勧めの道を観光

隊は歩く。

安倍川を越すと元祖安倍川餅の「石部屋」がある。安倍川のほとりに建つ1804年創業の安倍川餅専門店、新幹線など買う安倍川餅とは全く違う。手作りなのでみやげ分は予約済み。さすが丁子屋の後なので店内で食べた人は半数。入ると土間があり、壁には振り子時計がかかるなど、昔懐かしく古めかしい造りである。

